

複合災害と 新たな都市像

COVID-19の長期化と、気候変動によって災害が複合化する中、個人とコミュニティに求められる空間像は今大きく変わろうとしています。リモート化の浸透、さまざまな災害の常襲化を前に、社会的分断の解決と包摂を、私たちはもう一度空間に求めることができるでしょうか？土木・建築・都市・演劇・計算・模型・映像を駆使した都市の設計提案をお待ちします。

●審査委員

委員長 内藤廣（建築） 副委員長 宮城俊作（ランドスケープ）

高橋 一平（建築） 星野 裕司（土木） 乾 久美子（建築）

千葉 学（建築） 羽藤 英二（都市）

●応募資格 30歳以下（2021年3月31日時点）の学生・社会人（個人・グループは問わない）

●賞 最優秀賞1点 優秀賞2点程度

●提出物 ポスター2枚（A3版横使い） ※PDF形式で提出してください

●スケジュール

・2021年9月30日 応募締め切り

・2021年10月末頃 一次審査結果発表

・2021年11月27日 二次審査（公開）

●コンペ問合せ先/送付先 井本佐保里（日本大学）imoto.saori@nihon-u.ac.jp

URL

http://dss.bin.t.u-tokyo.ac.jp/alliance/competition/competitio_recruitment/

●主催：復興デザイン会議

復興デザイン会議：土木・建築をはじめとするさまざまな分野の全国各地の専門家によって構成される専門家会議。2021年度の全国大会では、熊本復興と福島復興の最前線を議論するとともに、復興デザイン各賞の発表があります。ふるってご参加ください。